



Cloud Volumes ONTAP 9.8 の新機能

Cloud Volumes ONTAP

Ben Cammett
July 08, 2021

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/cloud-volumes-ontap/reference_new_98.html on July 08, 2021. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Cloud Volumes ONTAP 9.8 の新機能	1
9.8 GA (2021 年 1 月 5 日)	1
Cloud Manager 3.9.2 (2021 年 1 月 4 日) で導入された変更点	1
E48s_v3 が HA ペアでサポートされるようになりました (2020 年 12 月 21 日)	1
サポートされる EC2 インスタンス (2020 年 12 月 11 日)	1
9.8 RC1 更新プログラム (2020 年 11 月 12 日)	1
9.8 RC1 (2020 年 11 月 8 日)	2
必要な Cloud Manager Connector のバージョン	3
アップグレードに関する注意事項	3

Cloud Volumes ONTAP 9.8 の新機能

Cloud Volumes ONTAP 9.8 には、いくつかの新機能と拡張機能が含まれてい

その他の機能と機能拡張は、Cloud Manager の最新バージョンで導入されました。を参照してください
["Cloud Manager リリースノート"](#) を参照してください。

9.8 GA （ 2021 年 1 月 5 日）

Cloud Volumes ONTAP 9.8 の一般リリース（ GA ）がリリースされました。GA リリースにはバグの修正が含まれています。Cloud Manager により、既存の 9.8 RC1 および 9.7 システムをこのリリースにアップグレードするように求められます。

Cloud Manager 3.9.2 （ 2021 年 1 月 4 日）で導入された変更点

Cloud Manager 3.9.2 リリースでは、Cloud Volumes ONTAP の機能がいくつか拡張されています。AWS アウトポスト、GCP 内の大容量ディスクなどがサポートされます。

にアクセスします ["Cloud Manager リリースノート"](#) 3.9.2 リリースの詳細については、を参照してください。

E48s_v3 が HA ペアでサポートされるようになりました（ 2020 年 12 月 21 日）

Microsoft Azure の Cloud Volumes ONTAP HA ペアで E48s_v3 VM タイプがサポートされるようになりました。

サポートされる EC2 インスタンス（ 2020 年 12 月 11 日）

9.8 リリース以降、C4、M4、および R4 EC2 インスタンスタイプは、新しい Cloud Volumes ONTAP システムではサポートされていません。既存の 9.8 システムをこれらのインスタンスタイプのいずれかに変更することもできません。

C4、M4、または R4 インスタンスタイプで実行されている既存の Cloud Volumes ONTAP 9.7 システムがある場合も、9.8 リリースにアップグレードできます。

9.8 RC1 更新プログラム（ 2020 年 11 月 12 日）

シングルノードシステムと同様に、Cloud Manager では、C5、M5、または R5 インスタンスタイプを使用すると、AWS で 9.8 の新しい HA ペア環境にコアダディスクが割り当てられます。コアダディスクを使用すると、サポートされるインスタンスタイプを切り替えることができ、問題が発生した場合にコアファイルを収集するシステムの機能が拡張され、将来的にはより大規模なインスタンスタイプをサポートできるようになります。

コアダディスクは、540 GB の汎用 SSD（gp2）です。



このコアディスクの追加により、これらのインスタンスタイプを使用するシステムでサポートされるデータディスクの数が 1 つ少なくなりました。"[AWS のストレージの制限に関する詳細は、こちらをご覧ください](#)"。

9.8 RC1 （ 2020 年 11 月 8 日）

Cloud Volumes ONTAP 9.8 RC1 が AWS 、 Azure 、 Google Cloud Platform で利用できるようになりました。Azure では、9.8 RC1 をアップグレードに使用できるのは現時点でのみです。

で導入された機能に加えて "[ONTAP 9.8](#)"このリリースの Cloud Volumes ONTAP には、次の機能が含まれています。

- [\[High-availability pairs in Google Cloud\]](#)
- [\[Fixes for Azure NIC detach events and maintenance events\]](#)
- [\[High write speed with HA pairs in AWS and Azure\]](#)
- [\[Support for 24 storage VMs in AWS\]](#)
- [\[Core disk for single node systems in AWS\]](#)

Google Cloud のハイアベイラビリティペア

Cloud Volumes ONTAP ハイアベイラビリティ（ HA ）ペアが Google Cloud で利用できるようになりました。

HA ペアは、クラウド環境で障害が発生した場合にエンタープライズクラスの信頼性を提供し、継続的な運用を実現します。AWS の Cloud Volumes ONTAP と同様に、Google Cloud の HA ペアには、データが相互に同期的にミラーリングされる 2 つの Cloud Volumes ONTAP ノードと、ストレージのテイクオーバーとギブバックに役立つ通信チャネルを提供するメディエーターインスタンスが含まれます。

表示 "[サポートされている構成](#)" および "[ストレージの制限](#)"。

"[Google Cloud の HA ペアについて詳しくは、こちらをご覧ください](#)"。

Azure NIC 切断イベントおよびメンテナンスイベントの修正

このリリースでは、Cloud Volumes ONTAP による Azure フリーズイベント、Azure NIC 切断イベント、およびその他の Azure メンテナンスアクティビティ（仮想機能の無効化など）の処理方法がいくつか改善されています。このリリースでは、Cloud Volumes ONTAP のフォールトトレラントが高く、Azure イベントをより正常に処理し、サービスの停止やクラスタの低下の可能性を軽減します。

AWS と Azure の HA ペアで高速の書き込み速度を実現します

特定のインスタンスまたは VM タイプを使用する場合に、AWS と Azure で HA ペアの高速書き込みがサポートされるようになりました。Cloud Volumes ONTAP 高速書き込みは、ワークロードに高速書き込みパフォーマンスが必要な場合に最適です。また、予期しないシステム停止が発生した場合にも、データ損失のリスクに耐えることができます。

書き込み速度を選択する前に、通常と高速の設定の違いと、高速の書き込み速度を使用する場合のリスクと推奨事項を理解しておく必要があります。

["詳細はこちら。"](#)

AWS では最大 24 台の Storage VM をサポートします

C5 、 M5 、 R5 のいずれかのインスタンスタイプを使用して独自のライセンスを有効にすると、AWS の Cloud Volumes ONTAP で最大 24 個の Storage VM がサポートされるようになりました。これら 24 個の Storage VM のうち、ディザスタリカバリ（DR）用に最大 12 個を設定できます。

使用する EC2 インスタンスタイプによっては、上限値がそれよりも低くなる可能性があります。

デフォルトでは、Cloud Volumes ONTAP に付属する最初の Storage VM 以降に追加する data_serving_storage VM ごとにアドオンライセンスが必要です。アカウントチームに連絡して SVM アドオンライセンスを入手してください。

ディザスタリカバリ（DR）用に設定する Storage VM には追加ライセンスは必要ありませんが（無償）、Storage VM の数は制限に含まれます。

["Storage VM の制限に関する詳細情報"](#)。

["Cloud Volume 用のデータ提供用 Storage VM を作成する方法について説明します AWS の ONTAP"](#)。

AWS のシングルノードシステム用のコアディスクです

C5 、 M5 、または R5 のインスタンスタイプを使用すると、Cloud Manager で AWS で 9.8 のシングルノード環境にコアディスクが割り当てられるようになりました。コアディスクを使用すると、サポートされるインスタンスタイプを切り替えることができ、問題が発生した場合にコアファイルを収集するシステムの機能が拡張され、将来的にはより大規模なインスタンスタイプをサポートできるようになります。

コアディスクは、540 GB の汎用 SSD（gp2）です。



このコアディスクの追加により、これらのインスタンスタイプを使用するシングルノードシステムでサポートされるデータディスク数が 1 本少なくなりました。["AWS のストレージの制限に関する詳細は、こちらをご覧ください"](#)。

必要な Cloud Manager Connector のバージョン

新しい Cloud Volumes ONTAP 9.8 システムを導入し、既存のシステムをバージョン 9.8 にアップグレードするには、Cloud Manager Connector でバージョン 3.9.0 以降が実行されている必要があります。

アップグレードに関する注意事項

- Cloud Volumes ONTAP のアップグレードが Cloud Manager から完了している必要があります。System Manager または CLI を使用して Cloud Volumes ONTAP をアップグレードしないでください。これを行うと、システムの安定性に影響を与える可能性
- Cloud Volumes ONTAP 9.8 に 9.7 リリースからアップグレードできます。Cloud Manager により、既存の Cloud Volumes ONTAP 9.7 システムを 9.8 リリースにアップグレードするように求められます。

["Cloud Manager から通知された場合のアップグレード方法について説明します"](#)。

- シングルノードシステムのアップグレードでは、I/O が中断されるまで最大 25 分間システムがオフライン

ンになります。

- HA ペアのアップグレードは無停止で、I/O が中断されません。無停止アップグレードでは、各ノードが連携してアップグレードされ、クライアントへの I/O の提供が継続されます。

C4、M4、および R4 インスタンスタイプ

9.8 リリース以降では、新しい Cloud Volumes ONTAP システムで C4、M4、および R4 インスタンスタイプはサポートされません。C4、M4、または R4 インスタンスタイプで実行されている既存の Cloud Volumes ONTAP システムがある場合も、このリリースにアップグレードできます。

C5、m5、または r5 インスタンスファミリーのインスタンスタイプに変更することをお勧めします。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.